

環境レポート2007 (概要)

はじめに

当社は操業以来一貫して「地域冷暖房事業」を通して環境負荷の低減に貢献してまいりましたが、2006年度には社内に「環境経営委員会」を設置するとともに「環境憲章」の制定などを実施し、環境保全に幅広く取り組める体制の整備をいたしました。

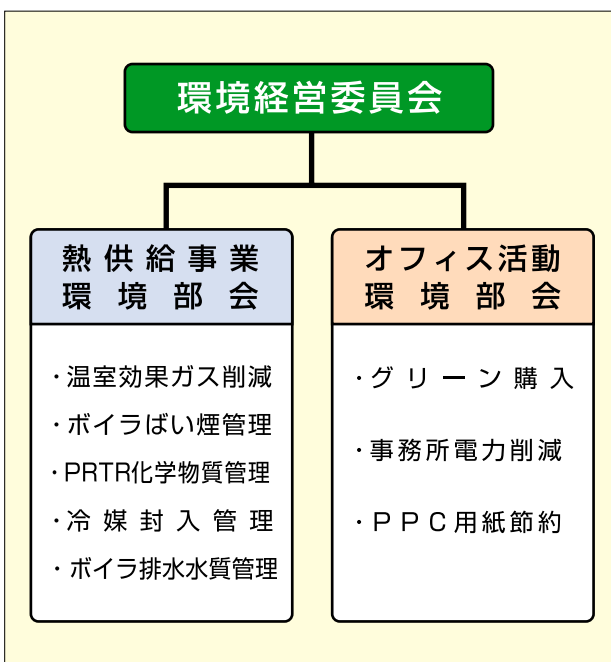
■先ず当社の根幹をなす熱製造・販売事業については、2005年度から始まった東京都の「地球温暖化対策計画書制度」において、2009年度の温室効果ガス排出量を基準排出量（2002年度～2004年度排出量の平均）の7%削減を目標に掲げ、高効率機器の導入による設備更新、電気・ガスのエネルギー管理を徹底するなどの取り組みにより、2007年度には目標を上回る7.4%の削減を達成いたしました。

また、2007年7月に提出いたしました中間報告書が東京都から「AAA」の評価をいただき、本年6月には都知事から表彰を受けました。

■当事業以外の分野でも、2005年度を基準として、オフィスでの電気使用量5%削減を目標に不要箇所のこまめな消灯、昼休み時間帯の消灯など節電に努め、2007年度には8%の削減を達成いたしました。同時にグリーン商品の購入、事務用紙の節約、ゴミの分別廃棄などの環境保全活動を積極的に展開いたしました。

■今後とも、当社は「地域冷暖房事業」を通して、より良い都市環境の創出と地球環境の保全を目指して社会に貢献してまいります。

体制および役割



東京都評価通知書

地球温暖化対策評価通知書

20 標準配第 39 号
平成 20 年 4 月 24 日

池袋地域冷暖房株式会社
代表取締役社長 高田 勝久 様

東京都知事 石原 慎太郎

平成19年7月2日付けで提出のあった次の事業所の地球温暖化対策中間報告書の内容については、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例第8条の2第1項の規定により、次のとおり評価したので、同条第2項の規定により通知します。

事業所の名称	池袋地域冷暖房株式会社
事業所の所在地	東京都豊島区東池袋 3-1-1
評 価	AAA

2007年度（平成19年度）の取り組み状況

地域冷暖房事業においては、約7年にわたり設備更新工事を行ってまいりましたが、2008年3月に無事完成いたしました。2007年度は更新工事の最終年度にあたり、電動ターボ冷凍機1基、ブライントーボ冷凍機2基及び氷蓄熱槽、特高変圧器が完成いたしました。特に氷蓄熱システムは電力負荷の日較差の平準化を目指して今回の更新工事で採用されました。

1. 熱供給事業環境部会

A. 温室効果ガス削減（CO₂ 排出量抑制状況 東京都温暖化対策計画書制度の数値）

項目	2005年度	2006年度	2007年度	2009年度 (目標)
削減量 (CO ₂ -t/年)	1,014	1,657	1,825	1,732
削減率 (%)	4.1%	6.7%	7.4%	7.0%
更新機器	ターボ冷凍機1基 吸収冷凍機2基	ターボ冷凍機2基	ターボ冷凍機1基 氷蓄熱システム1式 特高変圧器1式	

※基準排出量 24,513CO₂-t/年 平成14～16年度排出量の平均値

B. ばい煙排出状況測定値

	測定月	排ガス温度 (°C) 基準：170 以下	窒素酸化物 (ppm) 基準：40 以下	ばいじん濃度 (g/m ³ N) 基準：0.03 以下
1号ボイラ	8月/2月	113/98	25/27	0.001/0.001
2号ボイラ	8月/2月	104/90	23/25	0.001/0.001
3号ボイラ	8月/2月	104/95	25/25	0.001/0.001

※大気汚染防止法に基づき、年2回ばい煙測定を実施し、7月に定期報告。

※光化学スモッグ注意報・警報発令時には、緊急時協力事業場として、ばい煙減少措置に協力しています。

C. PRTR法化学物質管理（特定化学物質取扱量の管理）

化学物質名	使用月	取扱量 (kg)	使用目的
ヒドラジン	5・9・1	1,223	冷凍機新設に伴う冷却水系への基礎投入と冷凍機チューブの防食
エチレングリコール	5	25,315	氷蓄熱設備への不凍液として

※PRTR法（特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律）で指定されている第一種指定化学物質には、上記2種類が該当。

D. 冷媒封入管理（HFC・SF₆の封入状況）

名称	封入量 (kg)	用途
HFC (ハイドロフルオロカーボン)	23,747	電動ターボ冷凍機の冷媒
SF ₆ (六フッ化硫黄)	952	特高受変電機器の絶縁材

※完全密封であるため排出はされません。

E. ボイラ排水状況

区分	PH	排水温度	排水量累積 (m ³)
基準値	5を超え9未満	45℃未満	---
実績値	6.5～8.0	32～36℃	2,289

※東京都下水道条例に基づき、ボイラ排水の適正な水質管理を行っています。

2. オフィス活動環境部会

環境負荷の低減に向けた取り組み方法の提案並びに数値目標の設定、グリーン購入の購入手順に従い、オフィスにおける環境活動を実践しています。

なお、環境負荷の低減に向けた取り組みを2006年度の途中から開始した為、基準年度を2005年度としました。

A. 電気使用実績（事務室）

項目	年度	2005年度 基準年度実績	2006年度 実績	2007年度 実績
使用量 (KW)		30,698	29,196	28,199
削減率 (%)		--	5%	8%
備考		削減目標は 2005年度比 5%削減	5月事務所移転 9月取組開始 昼休み時間消灯	不要箇所消灯 蛍光灯の間引き

B. 事務用紙使用実績（発注ベース）

項目	年度	2005年度 基準年度実績	2006年度 実績	2007年度 実績
使用枚数		139,000	124,500	130,000
削減率 (%)		--	10%	6%
備考		削減目標は 2005年度比 5%削減	両面印刷 裏紙の使用	

以上